

中学部 校内実習を終えて

中学部3年1組 A・S

ぼくは、木工班で花台とウッドボックスの製作をしました。

今年の校内実習の目標は、「自分から作業に取り組む」と「組み立てでネジが曲がらないように打つのをがんばる」でした。

校内実習で特にがんばったことは、組み立ての工程です。ウッドボックスの製作では、四角形になるようにボンドで固定するのが難しかったです。固定した後のき打ちでは、曲がらないように、まっすぐ一人で打てるようになりました。花台の製作では、クマの顔を型取った部分のやすりと塗装が難しかったけれど、がんばりました。板をまっすぐ付けることも難しかったけれど、友達におさえてもらいながら、協力してがんばることができました。

校内実習を通して、「自分から取り組むこと」と「正確に仕事をする事」の大切さを学びました。校内実習では、良い製品をたくさん作ることができてうれしかったです。

中学部作業学習の木工班と家庭生活班は11月5日(火)から11月15日(金)まで、9日間の校内実習を行いました。普段生活をしている学級から離れ、生徒一人一人が将来働く力を身に付けるために、「休まずに長い時間取り組むこと」「丁寧な言葉遣いを含めた、しっかりとした挨拶・返事・報告をすること」「準備・作業活動・片付けの一連の活動に自分から取り組むこと」「集中して丁寧な製品を作るように努力すること」等を意識し、目標をもって作業に取り組むことができました。

木工班は花台やウッドボックスの材料のやすり掛けや塗装、組み立てを行いました。家庭生活班は、ミシンを用いたコースターやティッシュケースの製作をしました。また、販売会に向けて、各作業班で接客マナーやカタログ作り等の準備も行いました。

生徒たちは、作業班に分かれ長期間の作業学習に取り組んだことから、仕事における各々の役割や協力して一つの作業に取り組むことの大切さ、また自身の新たな課題に気付くことができました。校内実習で得た経験を、作業学習や今後の生活に生かせるよう今後も継続して支援をしていきます。

中学部2年1組 担任 五十嵐 拓也

高等部 後期現場実習（校内）を終えて

高等部1年1組 S・K

私は校内実習でクリーン班に所属し、実習を行いました。実習の前に、作業学習クリーン活動班の友達にどのようなことに気を付けて掃除をしたらよいか聞いてみると、教室だったら、隅の方や、ものを動かして掃除をするように教えてもらい、それを目標に決めました。

最初は机拭きをやりましたが、コツがつかめなくて苦労しました。2日目、3日目とやっていくうちに、コツをつかみ、上達することができました。私は、同じことを何回もやると覚えられるんだなあ、と思いました。クリーン班として活動しているうちに、掃除にとってもやりがいを感じるようになりました。今考えると、もう少し細かい部分にも気を付けて掃除をすればよかったと後悔しています。

今回の実習をやってみて、学ぶことが多く、一般企業で実習してみたいと思うようになりました。また清掃の仕事にも興味をもちました。実習で学んだことを来年の現場実習で生かしていきたいです。とても勉強になった実習でした。

2回目の校内実習が無事終了しました。本学級の生徒は校内実習を通じて、それぞれの班の中で様々な体験や経験をすることができたと思います。実際にお客様の手元に届くものに対して作業に取り組むことができた班、企業の方々など外部から講師を招いてお話を聞くこと、実際に活動する時のポイントを説明いただいた班など普段の学校生活ではなかなか経験することのできない貴重な時間を過ごすことができました。

事前学習では、前期実習の振り返りを改めて行い、それぞれ目標を考え、実習に臨みました。併せて「報連相の重要性」と「継続することの大切さ」を授業で取り扱いました。実習中は、生徒それぞれのペースで頑張る姿を確認することができました。

緊張した面持ちで終えた入学式からあっという間に時が流れ、令和6年も残りわずかとなりました。生徒の中にも「今年はあっという間だった。」という声もあります。

あっという間に過ぎていく生活の中で、生徒にとって自分らしく生きていける進路の実現や生徒自身がやりたいことを見つけられるよう、目の前の生徒に向き合い、私自身のスキルアップや教員以外の職業を経験したことを生かして、支援を行っていきたいと思います。

高等部1年4組 担当 橋本 拳

高等部 後期現場実習（校外）を終えて

高等部2年2組 K・M

私は、しまむら八島田店で実習を行いました。前期に続けて2回目の実習でした。今回の実習では、前期よりもステップアップした目標を設定して取り組みました。一つ目の目標は「タイムスケジュール表を確認して仕事をする事」で、二つ目の目標は「周囲を見てお客様に明るく元気に挨拶をすること」でした。

二つの目標を達成し、働くために大切だと感じたことは、時計を見て自分で考えて行動することとお客様に対していつも明るい笑顔で接することです。

今回の実習では、前回よりもハキハキとした声で話すことができました。他にもお客様や従業員の方に自分から挨拶や話をする事ができたこと、率先して次の仕事に取り組む事ができたことなど、自分なりに成長する事ができたと思っています。

実習を終えて、今後の学校生活の中で意識して取り組みたいことは、丁寧な言葉遣いと自分から相談する力、体力をつけることです。来年の就職に向けて頑張ります。

「あなたの道」

あなたの「道」はもう決まっていますか。まだ決まっていない人は、どのような「道」を歩んでいきたいですか。

私は、自分の進路は自分で決めなければならないと、日々生徒に伝えています。今回の後期産業現場等における実習は、これから歩いていく道を決めるために、生徒にとって大変重要な実習となりました。

実習するにあたって、毎回目標を立てているのですが、今回は少し様子が違いました。それは、その仕事ならではの目標を立てている生徒が多い点でした。介護職を希望している生徒は、お年寄りとのかかわり方についての目標、スーパーで働きたい生徒は、お客様とのやり取りに関する目標というように、一人一人が自分の「道」を意識して、目標設定をしていると感じました。また実習への取り組み方もより積極的な生徒が多かったように感じます。

先ほども申し上げましたが、自分の「道」は自分で決めるものです。目の前にいる生徒が卒業後も幸せな人生を歩んでいくことができるように、これからもそのサポートを精一杯やっていきます。

高等部3年2組 担任 近藤 沙季